

□第 4 章 住みやすく緑豊かなまちづくり（都市環境、生活環境、自然環境）□

◇章の目標

計画的な土地利用を進める中で、都市基盤の維持改善に取り組むとともに、生活環境と自然環境それぞれの環境を守ることで、快適で利便性の高い、市民にとって住みやすさが実感できる緑豊かなまちをつくれます。

◇施策体系



(抜粋)

第3項 基地跡地留保地利用の検討

○施策の目指す姿

入間市駅の利便性の向上と、まちのシンボルとなる市街地が形成され、周辺地域と調和した施設が整備されたまち。

○施策の現状

平成20年6月に留保地利用計画を策定しましたが、入間市駅前側留保地については、計画の進捗は見られない状況です。

○施策の課題

- ・現状の留保地利用計画について、基本的方針を再検討した上で、実現可能な計画へと見直しを図る必要があります。

○施策の方向性

入間市駅前側留保地利用計画の基本方針策定

利用計画策定に向け、検討の前提となる基本方針の策定に取り組みます。

利用計画の策定に向けた調査・研究

計画策定に向けた調査・研究、市民および関係機関等との意見交換・調整に取り組みます。

○成果指標

指標	内容	現状値	目標値
市民および関係機関との意見交換会等の回数	入間市駅前側留保地の利用に関して、市民および関係機関等と意見交換、調整等の実施回数から、認識共有の進捗度を判断します。	0回	年4回

○協働のとりくみ方向 【市民と行政が対等】

利用計画の基本方針策定にあたっては、初期の段階から市民との意見交換を行う機会を設定して、取り組みます。